

ハイ!
こちら
相談室

未成年者を狙ったキャッチセールス

※キャッチセールスとは、商品の販売目的や役務の提供目的を隠して消費者に近づき、喫茶店や営業所などで契約を結ばせる販売方法です。消費者の毅然とした態度がとりわけ必要とされます。

「相談事例1」

- * 契約商品 化粧品・ダイエット食品
- * 契約額 300,000円
- * 契約者 19歳 女性

友人と県外にコンサートを見に行く途中、駅前で「肌のお手入れについてアンケートに答えて欲しい」と呼び止められ、近くのビルに連れて行かれた。

「肌に合った化粧品だ」と2時間あまり勧説され2人とも契約してしまった。

よく考えたら高額で特に必要なもので解約したいのですが。
(なお、商品は受け取っていない。)

「相談事例2」

- * 契約商品 ダイエット食品・美容器
- * 契約額 262,500円
- * 契約者 18歳 女性

県外の繁華街を歩いていたところ、男女の販売員に「体型や肌についてのアンケートに答えて欲しい」と声をかけられ、近くの営業所へ連れて行かれた。「痩せる効果がある」と商品の購入を勧められ、アルバイトで払えると思い購入した。

よく考えると、健康食品は17箱と過量であり、サラ金からの金銭消費貸借契約での支払いであり、解約したいのですが。
(なお、商品は未開封である。)

<処理結果>

未成年者(20歳未満)が契約する場合原則として法定代理人(通常は親)の同意が必要です。同意のない未成年者契約は、これを取り消すことができ、従って、事例1・事例2については、右記(親からの例文)「未成年者契約の取消通知書」を作成し、内容証明郵便で通知するよう助言しました。

なお、事例2については、実際には一部商品を使用していたが、現状のままで返還すればよいので、手元にある商品をすべて返還するよう助言しました。

《アドバイス》

1. 道で話しかけられたり、声をかけられても絶対に立ち止まらず、相手にしないようにしましょう。
2. 「話だけでも聞こう」は禁物です。
3. 本当に必要なものなのかよく考えましょう。

取消通知

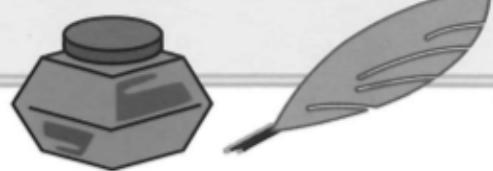
○○県○○市○○丁目○○番○○号
○○株式会社 代表取締役○○○○殿
山梨県都留市○○丁目○○番○○号
氏名印

平成○○年○月○日に、貴社のセールスマン○○○氏と、私どもの子供○○○○との間で締結された商品名の購入契約は、未成年者が親の同意を得ずに行った行為であり、親権者として取り消します。本人も取り消しを望んでいます。

つきましては、当該契約に際して支払いました金○○円は、直ちに○○銀行○○支店普通預金口座○○○号に振り込んでください。

なお、商品は、早急に引き取ってください。

平成○○年○月○日



本人からの一言
将棋

趣味

プロフィール
竹川茂夫巡査
甲府市下帯那町出身



彼女いな歴は、22年です。困ったことなど、なんでも結構です。上谷交番に気軽に立ち寄りください。

この度の人事異動で上谷交番に赴任した警察官を紹介します。
皆さんが主役となり取り組みましょう。

- ☆高齢者と子どもの交通事故防止
- ☆若者の無謀運転及び暴走族の追放
- ☆飲酒運転の絶滅
- ☆チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底

「人も車も自転車も 正しいルールを身につけて」

運動のスローガン
「ゆとりとマナー 今日もさわやか 甲斐の路」
「パパよし ママよし ポクもよし!みんなしめたよ」
習慣付けるよう心がけましょう。

実施中 7月21日(金)～8月20日(日)
夏の交通事故防止県民運動

城下町奉行だより